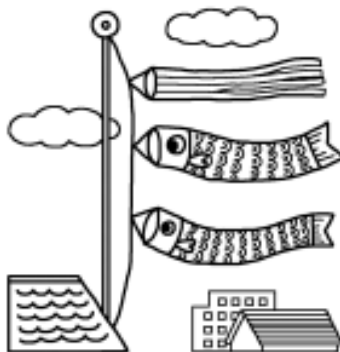


お寺の 今年度前期の予定

4月14日に、3名の総代様をはじめ、地域の世話役方々にお集まりいただき今年度第一回大智寺役員会が開かれました。

そこで確認された今年度のスケジュールの中で、日程が確定している前期の予定をここでお伝えします。



5月5日(日) 14時~15時 大智寺本堂
お花まつり(お釈迦様のご誕生をお祝いします)

法要が14時から始まります。その後、皆様に花御堂の中のお釈迦様に甘茶をそそいでいただき、お釈迦様のご誕生をお祝いします。どなた様もどうぞお参りください。

6月4日(火) 10時~15時 長良川国際会議場
岐阜西教区花園大会(参加者は既に確定済です)



瑞龍寺老大師様のもと、東日本大震災物故者追悼供養が行われ、午後には原田大二郎講師の講演があります。

7月2日(火) 京都妙心寺
妙心寺新亡供養法要団参(バスにて日帰り)

平成24年4月~平成25年3月末までに亡くなられた方が本年度の新亡者となります。詳しくは、次のページをご覧ください。

●7月13・14・15日 北野周辺地区外 お盆棚経



8月4日(日) 朝7時~ 大智寺
お盆前のお墓・境内掃除

今年は里2号の方々がお掃除をしてくださいます。毎年暑い時期にお掃除をしていただき本当にありがとうございます。

●8月11日~14日 北野周辺地区 お盆棚経

8月15日 7時30分~12時 大智寺
大智寺 山門施餓鬼法要

※ 8月のこども合宿は、中止となります。



だんだん檀家様のこども達の参加も少なくなりました。遠方からの参加者が増え、「檀家様への布教」という本来の目的から離れつつあるため、こども合宿は中止となりました。今まで地域の方々には温かく支えていただき、ありがとうございました。

大智寺だより

平成25年 皐月
Vol.39

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺 検索

<http://www.daichiji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地の水小屋にてご自由にお取りいただけます。また、当寺ホームページにて過去の紙面をご覧いただけます。ご活用ください。

4月号発行部数
300部

ご愛読
ありがとうございます

奥田英朗さんが お寺参りに来られました

4月26日に、直木賞受賞作家である奥田英朗さんがお寺参りに来られました。

精神科医 伊良部シリーズとして知られる小説「空中ブランコ」や「イン・ザ・プール」などは、テレビドラマ化や映画化、漫画化もされており、多くの方々に親しまれています。また「最悪」「邪魔」は、「J」のミステリーがすごい！に過去それぞれランクインしており、愛読者の方も多いのではないのでしょうか。



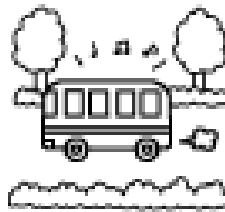
お寺に小説家の方がお参りに来られることは、めったにないので、行き届いたおもてなしもできませんでしたが、とても気さくな方で、

終始笑顔でお話くださいました。ゆったりと言葉を選びながらお話される優しさからは何か軸のような強さも伺えました。

青々と光る楓の下を帰って行かれる姿を見ながら、またじっくり小説を読もうかなとしみじみ思うひと時でした。



大本山妙心寺 新亡供養団参のご案内



今年7月2日(火)に妙心寺へ新亡供養団参に行くことになりました。この団参では、平成24年4月〜平成25年3月末までにお亡くなりになられた方のご供養が行われます。

妙心寺では、朝10時より管長親下導師のもと法要が執り行われ、新亡者の方々のお塔婆供養をしていただきます。お風には、大広間にて妙心寺「用達『阿じろ』」の精進料理をいただきます。それからバスで三十三間堂を参拝して岐路につきます。

観光バスに乗り合わせる時間は、一緒に乗り合わせる近隣寺院の都合もあり、参加者の方に直接ご連絡しますが、例年朝5時〜6時の集合です。

今年対象となられる方は、ぜひご家族、お友達とお誘い合わせの上ご参拝ください。

● お申込み

ご希望の方は、5月30日まで「お寺へお申込みください。」

● 費用

お一人様 一万円
塔婆供養料 千円(一霊)



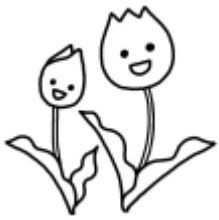
新しい駐車場の土地について

毎年、お彼岸やお盆にはお墓の前の路上が車で混雑して「車を駐車できなかった」というお声を多々いただいております。また、大型のバスが来山される時にも、「回転が難しい」とベテランの運転手の方でもお困りのご様子でした。

今まで、皆様には駐車に関して多々ご不便をおかけしておりましたが、今回、新しい駐車場を獅子庵の前にご用意することとなりました。

今まで初夏には美しい麦の葉がそよいでいた畑でしたが、今後は駐車場にするため少しずつ埋め立ての工事を進めることとなります。トラックなど出入りすることとなりますが、どうぞよろしくお願ひします。完成後は、お墓参りやお寺参りの際にぜひご利用ください。またこの駐車場を、お寺への一般参拝者の方にも自家用車やバスの駐車にご利用いただく予定であります。どうぞよろしくお願ひします。





～ まめ知識 インタビューしてみました ～

第九回：お仏壇屋さんの「仏壇の電球②」エピソード

ご自宅のお仏壇に手を合わす毎日に、
ちょっとお役に立てればありがたい、そんなお話。



さて、今回は前回に続いてお仏壇の中の電球についてです。

普段、お仏壇の中の電球が、付いたり付かなかったりすると、
つい叩いたり、指先で弾いたりして電球をつけようとしてしまいますが、
異常電流でショートすると、電球が切れてしまいます。
100Vほどの昔の電球を使用しているお仏壇で、コードの接続部分などが劣化していると
一瞬で火をふき出し、お仏壇が丸焦げになってしまうこともよくあります。

お仏壇の電球は、日常の微振動によって少しずつ自然に緩んできます。
電球の具合が悪いと感じたら、まず電源を切った状態で電球をしめ直してみてください。
それでも悪ければ、今ご利用の電球を仏壇屋へ持っていけば、同じサイズの電球を購入できます。

最近では、直流の3V（コード一体型）の電球もお仏壇用に用意されています。
火事にならないよう、しっかり点検をしながら 安心して毎日お参りいただければと思います。

《 大野仏壇総本店 》

今月のひよこ

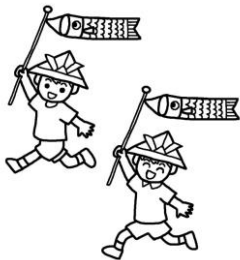
青葉繁れる初夏を迎え、山の空気がとてもおいしく
感じられる今日この頃です。新緑に日光がきらきらと
差す中、思わず深呼吸をして「今日もがんばろうー！」
と笑顔になれるのも、この時期の自然の力によるもの。
あれほど重い雪をかぶり、もうたためかとも思われた
木々が瑞々しく新芽を出す姿には、心打たれます。

さて5月といえば端午の節句。大智寺の得月池でも、
4月半ばから葉菖蒲がどんどん伸び、節句が近づいて
いることを伝えてくれます。花菖蒲と名前は似ていま
すが、花菖蒲がアヤメ科であるのに対し、葉菖蒲はサ
トイモ科でまったく異なる植物です。

近づいてみると、葉の部分はとてもいい香りがして
癒されます。また、根の部分には、アザロンやオイゲ
ノールという精油成分が多く含まれており、お風呂に
入れると、血行促進の働きがあるほか、鎮痛作用もあ
り、腰痛や神経痛などもやわらげるといわれています。

そんな葉菖蒲はどうしても葉ばかり目立ちますが、
その葉の根元にひっそりと花が咲きます。よく下を
見ないと見落としそうな花です。決して華やかではな
いこの花を見るといつも「脚下を看む」という禅語が
心をよぎります。ようやく暖かい気候になり、なんと
なく浮き足立ってしまいうらやま。

「大丈夫？ 足もとにある
大切なもの見落としてない？」
とこの花はそっと聞いてくれます。
落ち着いて毎日丁寧に暮らしと
思わせてくれる大切な花です。



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ

里4号のおばあちゃん 絹さやの胡麻和え

- ① 絹さやをサッと塩ゆでして、ざるにあげ、ななめ切りする。
- ② 胡麻をすりつぶし、切った絹さやを入れてよく和える。
- ③ ちょっとしょう油をかけて、出来上がり。

絹さやはポキッと音を立てて折れるものが新鮮やよ。簡単なおかずやけど、
孫と一緒にしゃべりしながら絹さやのスジをとったり、作るのが楽しいんやて。





～ うちの宗教って、どんなやつけ? ～

第五回：「応燈関（おうとうかん）一流の禅」の始まり



大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話

時は、執権北条氏が権力を持つ鎌倉の世。最先端の禅の修行道場として、多くの雲水が修行する建長寺では中国の僧、蘭溪道隆（らんけい どうりゅう）が住職をしていました。

そんな建長寺に、1249年、南浦 紹明（なんぼ しょうみょう）という僧が参禅します。まだ剃髪したばかりの15才の少年です。

南浦 紹明は、それから10年間建長寺にて修行を積み、仏道のみならず、中国語の語学力も身につけ、25才になって中国（宋）へ渡航します。

中国では、虚堂智愚（きどうちく）を師として8年間修行に励み、ついに大悟し、印可証明にみなされている「日多の記」を一偈として師から受け、帰国後は、「大応国師」という国師号を与えられました。

この南浦紹明（大応国師）から宗峰妙超（大燈国師）を経て 関山慧玄（大本山 妙心寺開山）へと続く禅風を「応燈関（おうとうかん）一流の禅」といい、今日まで670有余年にわたり、妙心寺派寺院が、最も大切に引き継いできている禅なのです。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

5月26日（日） 一回 500円
（朝8時～9時） （内300円は義援金）
要申込

4月写経会 備忘録

この写経会も東日本大震災から時を刻み、4月に3年目を迎えました。今まで「般若心経」の写経に励んできましたが、今月からは「妙法蓮華経 観世音菩薩普門品偈」（世尊偈）という長いお経に取り組み始めました。このお経は観世音菩薩がいろいろなお姿となり私達を救ってくださるという内容です。長いので、少しずつお写経していきます。

永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代に亘り、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。

ご希望の方は、いつでもご相談ください。



完全個別永代供養墓
1区画：38万円～
（墓石代金含む）

ご家庭のご事情により、また、その方のご希望により費用は変わります。

詳しくは、ご見学を含めてご説明いたしますので、ご予約の上、ご来山ください。